

令和3年度 第10回県政モニター調査結果

生活衛生課乳肉衛生係

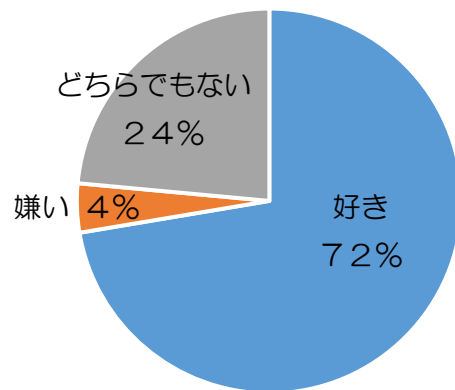
【連絡先：099-286-2788】

- テーマ 動物愛護について
- 調査の目的 県民の皆様の動物愛護への意識や実態を把握し、今後の動物の愛護及び管理に関する施策の参考とするため。
- 調査時期 令和3年11月
- 調査対象 200人
- 回答者数 171人（回答率：86%）

問1 動物が好きですか、嫌いですか。

	回答数	割合
好き	123人	72%
嫌い	7人	4%
どちらでもない	40人	24%

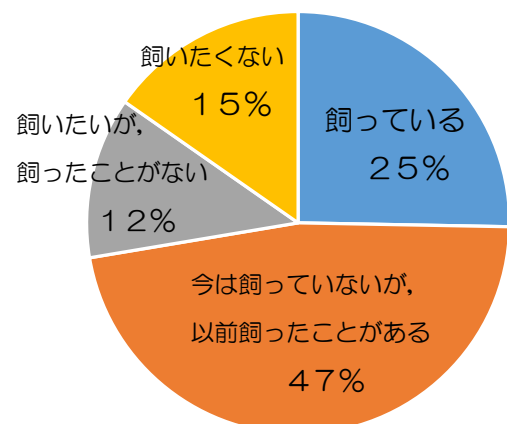
（回答者数 170人）



問2 自宅で犬や猫などの、動物を飼ったことがありますか。

	回答数	割合
飼っている	43人	25%
今は飼っていないが、以前飼ったことがある	80人	47%
飼いたいですが、飼ったことがない	21人	12%
飼いたくない	26人	15%

（回答者数 170人）



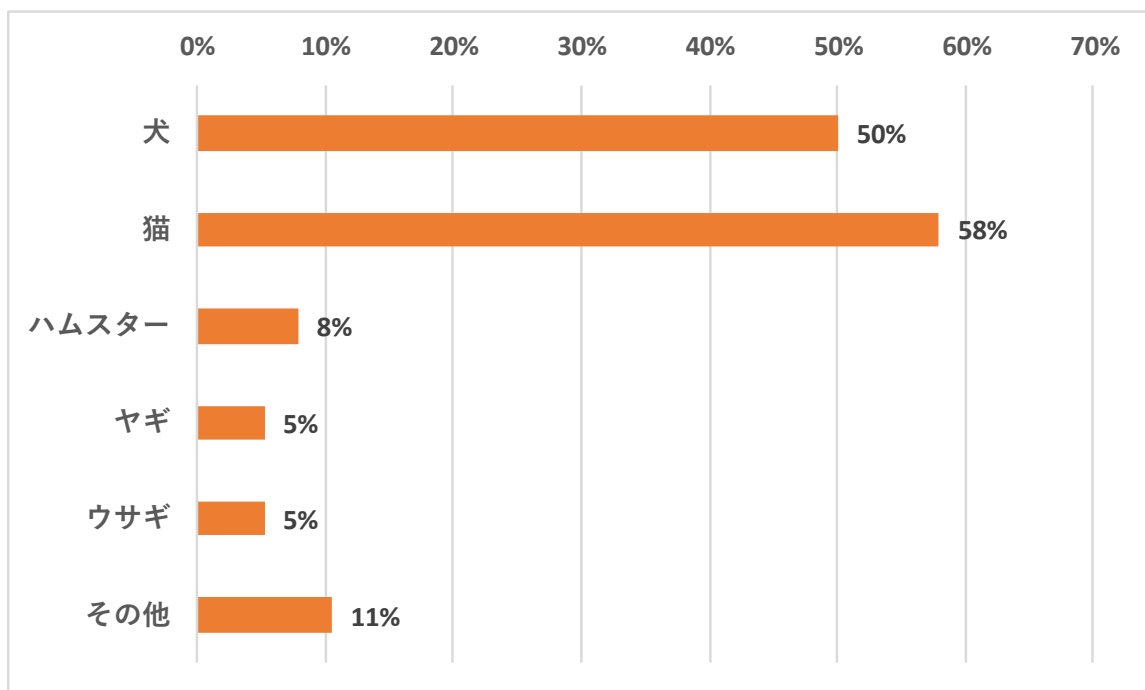
問2-① 問2で「飼っている」とお答えいただいた方が飼っている動物

	回答数	割合
犬	19人	50%
猫	22人	58%
ハムスター	3人	8%
ヤギ	2人	5%
ウサギ	2人	5%
その他	4人	11%

(回答者数 38人)

【その他回答（抜粋）】

○ カメ, メダカ, ニワトリ



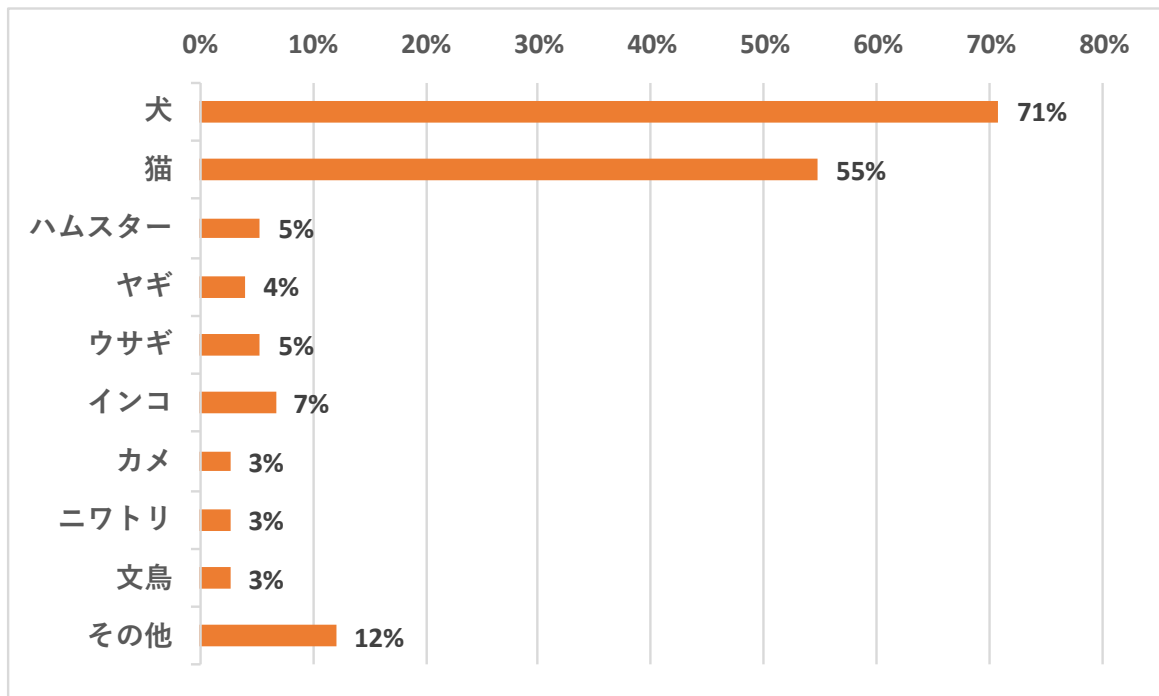
問2-② 問2で「以前飼ったことがある」とお答えいただいた方が飼っていた動物

	回答数	割合
犬	53人	71%
猫	41人	55%
ハムスター	4人	5%
ヤギ	3人	4%
ウサギ	4人	5%
インコ	5人	7%
カメ	2人	3%
ニワトリ	2人	3%
文鳥	2人	3%
その他	9人	12%

(回答者数 75人)

【その他回答（抜粋）】

- サル, オウム, 金魚, メダカ



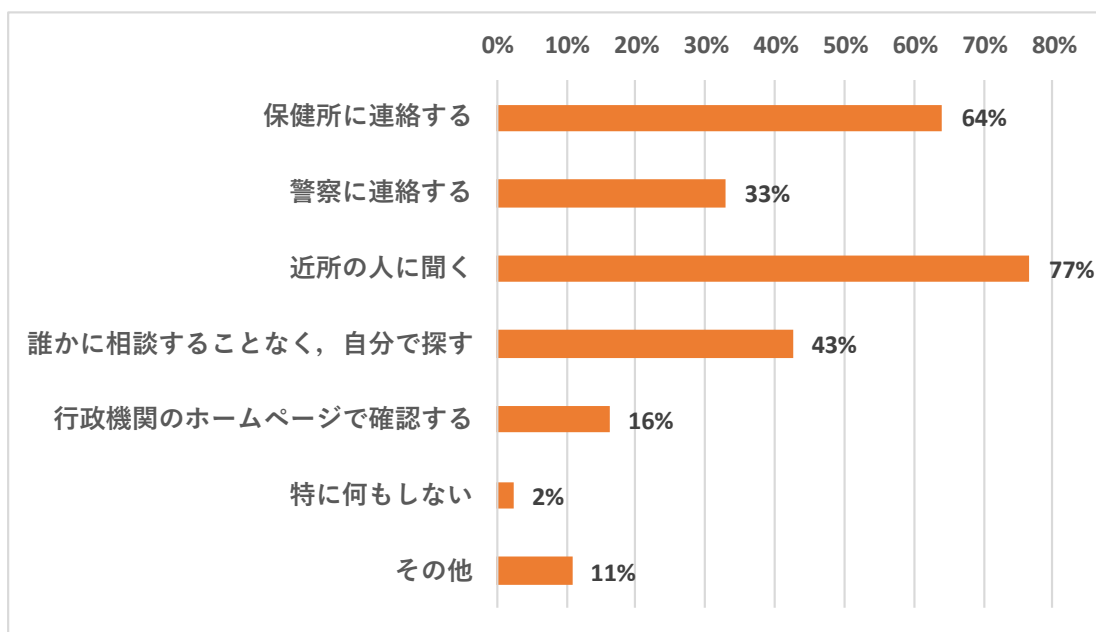
問3 飼っている犬猫が行方不明になった場合どうしますか。（上位3つまでご回答ください。）

	回答数	割合
保健所に連絡する	107人	64%
警察に連絡する	55人	33%
近所の人に聞く	128人	77%
誰かに相談することなく、自分で探す	71人	43%
行政機関のホームページで確認する	27人	16%
特に何もしない	4人	2%
その他	18人	11%

（回答者数 167人）

【その他回答（抜粋）】

- スーパー等で貼り紙をする
- SNS等で情報を発信する
- 区内の放送をお願いする



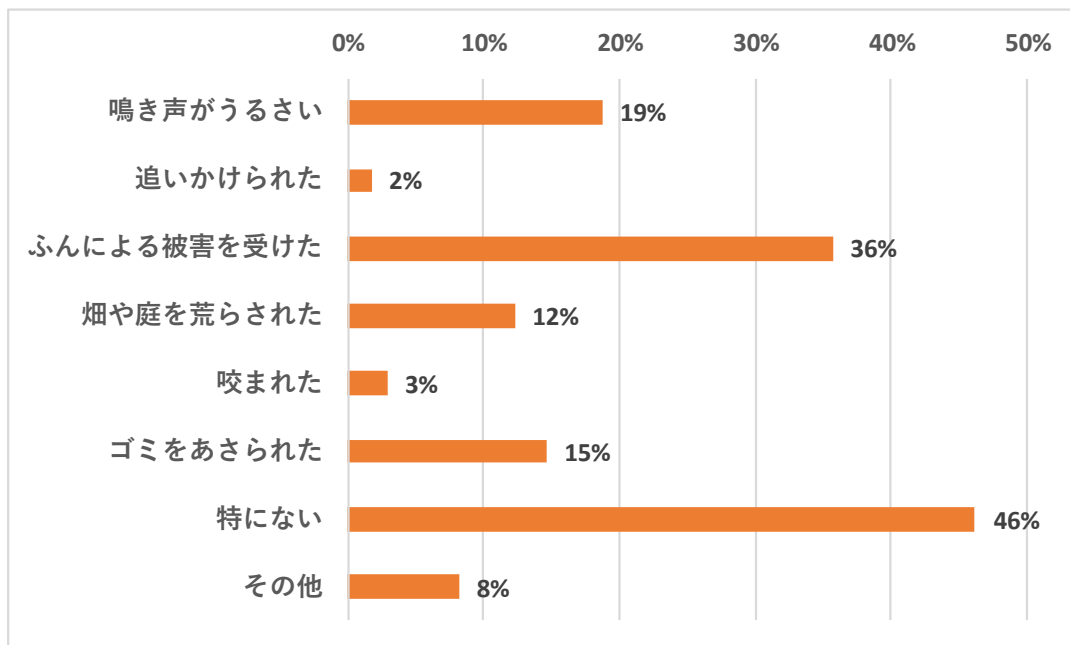
問4 ここ1，2年の間に，犬や猫による被害や迷惑を受けた事がありますか。
(複数回答可)

	回答数	割合
鳴き声がうるさい	32	19%
追いかけられた	3	2%
ふんによる被害を受けた	61	36%
畑や庭を荒らされた	21	12%
咬まれた	5	3%
ゴミをあさられた	25	15%
特にない	79	46%
その他	14	8%

(回答者数 171人)

【その他回答(抜粋)】

- 公園の砂場などに，犬猫の糞が放置されており，臭いがひどい
- 猫が家の中に侵入し，荒らされた
- 野良猫に飼い猫が咬まれた



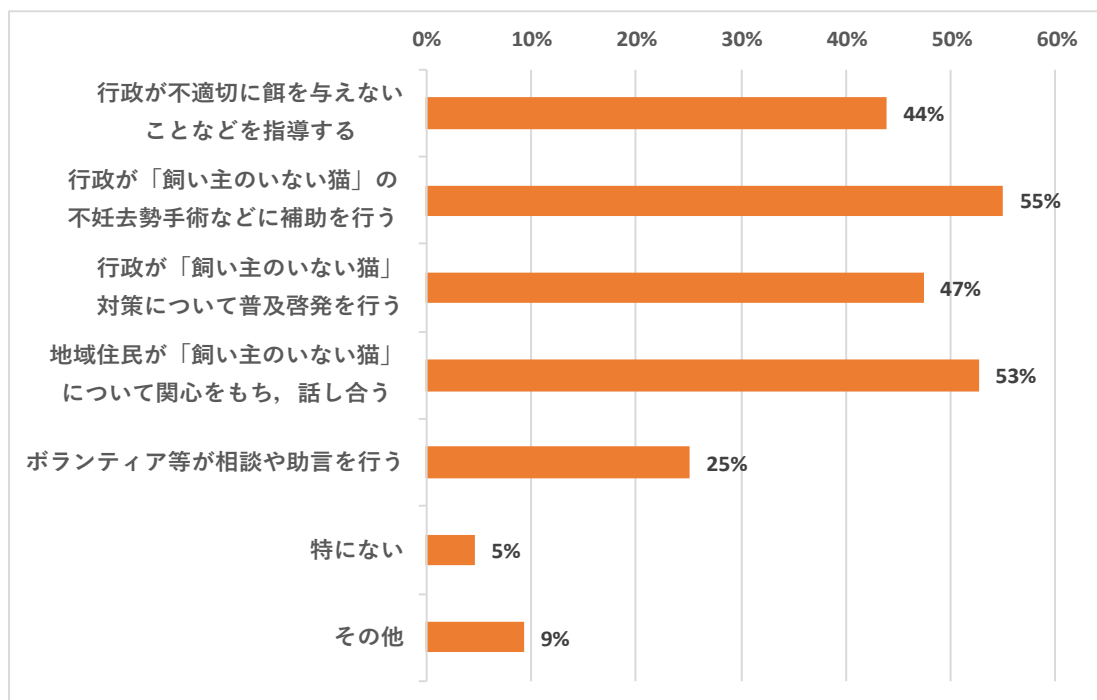
問5 「飼い主のいない猫」（いわゆる野良猫）の問題を解決するには何が
必要だと思いますか。（複数回答可）

	回答数	割合
行政が不適切に餌を与えないことなどを指導する	75	44%
行政が「飼い主のいない猫」の不妊去勢手術などに補助を行う	94	55%
行政が「飼い主のいない猫」対策について普及啓発を行う	81	47%
地域住民が「飼い主のいない猫」について関心を持ち、話し合う	90	53%
ボランティア等が相談や助言を行う	43	25%
特にない	8	5%
その他	16	9%

（回答者数 171人）

【その他回答（抜粋）】

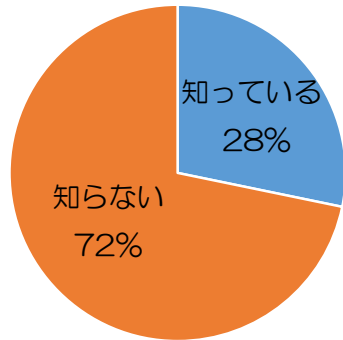
- 餌をあげている人などの責任を重くして、罰則を設ける
- 猫にマイクロチップを装着させる
- 遺棄の禁止等の周知やペットを飼う際の教育を充実させる
- 猫を飼う場合は、登録制とする



問6 「地域猫活動」という活動を知っていますか。

	回答数	構成比
知っている	48人	28%
知らない	122人	72%

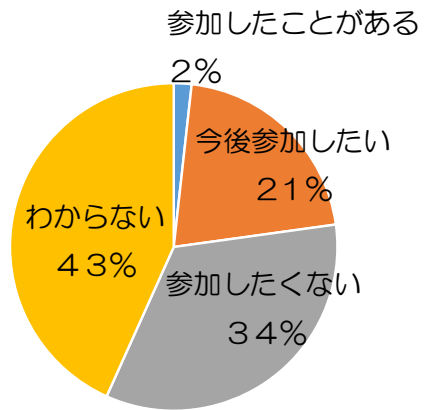
(回答者数 170人)



問7 地域の住民自らが行う「地域猫活動」に参加したいと思いますか。

	回答数	構成比
参加したことがある	3人	2%
今後参加したい	36人	21%
参加したくない	58人	34%
わからない	74人	43%

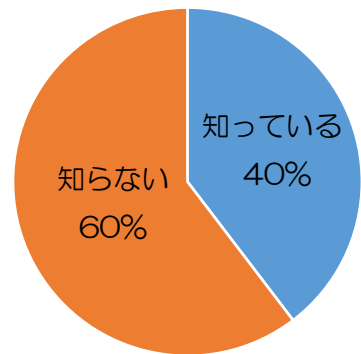
(回答者数 171人)



問8 災害時にはペットとの同行避難が原則とされていることを知っていますか。

	回答数	構成比
知っている	69人	40%
知らない	102人	60%

(回答者数 171人)



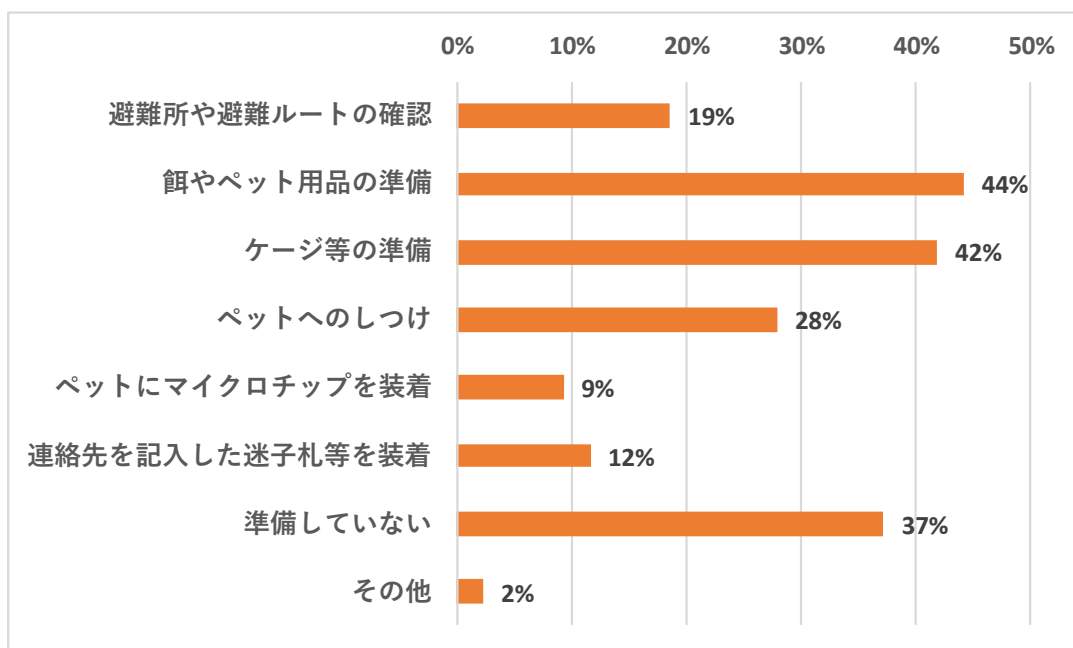
問9 災害時に備え、ペットとの同行避難のためにどのような準備をしていますか。（複数回答可）

	回答数	割合
避難所や避難ルートの確認	8	19%
餌やペット用品の準備	19	44%
ケージ等の準備	18	42%
ペットへのしつけ	12	28%
ペットにマイクロチップを装着	4	9%
連絡先を記入した迷子札等を装着	5	12%
準備していない	16	37%
その他	1	2%

（回答者数 ペット飼養者43人）

【その他回答】

- 避難所に行く必要はない



問10 動物の愛護や適正な飼養の推進のために、県が今後積極的に取り組むべき事は何だと思いますか。（複数回答可）

	回答数	割合
飼い主への規制強化	103	61%
ペット業者への規制強化	94	55%
動物の適正な飼養についての啓発	104	61%
学校等での子供を対象とした啓発	79	46%
ボランティアの養成及びボランティアへの支援	50	29%
相談・要望の窓口の充実	83	49%
飼い主のいる犬猫の不妊去勢手術の補助	80	47%
飼い主のいない猫の不妊去勢手術の補助	92	54%
特にない	4	2%
わからない	2	1%
その他	14	8%

(回答者数 170人)

【その他回答（抜粋）】

- 不妊去勢手術は飼い主の負担ですべき
- 飼い主のモラルが低いので指導や教育を充実させるべき
- 子猫の飼い方や爪の切り方などの動画があればよい
- 家の引越や家主の死亡時に相談できる窓口が必要
- 猫の登録制を導入してほしい
- ペットショップでのペットの販売を禁止してほしい
- 問題に地域で取り組むことが必要である

